

子どもの貧困

貧困の連鎖をどう断ち切れればよいのか～その現状と課題～

日時:2017年7月14日(金) 18:30～20:30(18:15より受付開始)

場所:専修大学神田キャンパス 1号館1階 105教室
(千代田区神田神保町 3-8)

講師:阿部 彩 氏(首都大学東京教授)

【ご 注 意】

会場が2階205教室から1階105教室に変更となりました。

【阿部彩氏プロフィール】

首都大学東京 都市教養学部人文・社会系教授、
同大 子ども・若者貧困研究センター長。

「生活保護の経済分析」(共著、東京大学出版会、
2008年)にて第51回日経・経済図書文化賞を受賞。

専門は 貧困、社会的排除、社会保障、公的扶助
論、社会保障論。



「知っていますか？子どもの貧困とその連鎖」

日本の子供の貧困率は、OECD(経済協力開発機構)加盟諸国と比較して、高い水準にあります。子ども期の貧困は、大人になってからも不利益をもたらし、さらには次世代に貧困が受け継がれる原因にもなっています。

この「貧困の連鎖」を断ち切るためには、子どもの貧困に関する現状と課題を広く、正確に共有する必要があります。

本例会では、子どもの貧困を多様なデータから可視化した首都大学東京教授の阿部彩先生をお招きして、「貧困の連鎖」を断ち切るために、我々は何を知り、何をしなければならぬのかについて、ご講演いただきます。

※参加費無料、申込不要

・九段下駅

(地下鉄/東西線, 都営新宿線, 半蔵門線) 出口5より徒歩3分

・神保町駅

(地下鉄/都営三田線, 都営新宿線, 半蔵門線) 出口A2より徒歩3分



【主催】公益社団法人自由人権協会 (JCLU)

TEL:03-3437-5466 e-mail:jclu@jclu.org twitter:@JCLUsecretariat

facebook: www.facebook.com/japancivillibertiesunion